

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.1.29

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと→金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail

雪の日の翌日、地表は春



新型コロナウイルスの蔓延下、緊急事態宣言が続いていて一人ひとりが感染防止に気を遣わなければならない時代、たくさん集まったのが良いことだとも言えないのですが、11/29の石神井川緑道はわたし一人の観察・記録活動でした。

冬場の観察は咲いている花も少なく、野草を眺めるのを趣味となさっている方には面白味がないのかもしれませんが、でも、冬の間、植物の動きをよく観察していると、趣味の植物観察にも奥行きが出てくるのではないかと思います。

前日は雪だったのが、この日は顔に吹き付ける風は冷たくても、地面の上は一転して春でした。



写真上左=冬の緑道、右=草刈り後、なにもない草原(「吸い殻広場」の奥)
下=蕾を付けたドウダンツツジ



ナガミヒナゲシのロゼット。
 同じ場所で、左は1/14の展葉状態。右は1/29の状態。
 2週間前と比べて見ると、ちゃーんと成長していました。



命をつなぐ大地 陽だまりには野草が咲き始める



枯草の野原で野鳥が地面をついばんでいます。草の種子か小さな虫か、何か食べ物があるのでしょうか。
ヒヨドリと**ドバト**がそれぞれのテリトリーを仲良く分け合っているのも、生きる知恵なのかもしれません。



陽だまりでは**スズメノカタビラ**（写真右上）や**チコグサモドキ**（写真右下）が開花していました。

オキザリス3色

オキザリスとはカタバミの学名。園芸品種でいろいろ開発されて、花屋さんではそれぞれに名前がついているのですが、ここでは一括オキザリス。石神井川緑道では黄、白、赤と色とりどり、葉の形も様々。野草ではないとはいえ、結構楽しめるものです。



※2月の石神井川観察は2/11、2/26の予定です。